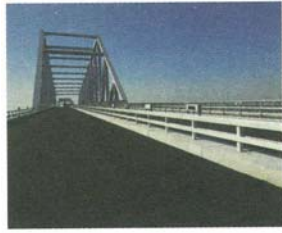


アルミ車両用防護柵

東京ゲートブリッジ採用



住軽日軽エンジニアリングは12日に開通した東京ゲートブリッジ海上横断部（5〜7工区…全長1635㍎区間）橋面工事のアルミ車両用防護柵設置工事を下請として担当した。

アルミ車両用防護柵の特徴は、強い耐食性・耐候性があり、塩害などの厳しい環境条件下でも優れた機能と美観を保つ。また高強度の防護柵は軽量なため橋梁本体への荷重負荷軽減とアルミのメンテナンスフリーが評価され、採用となった。同橋には、2カ所のパルクォーと防護柵を兼ねた高さ2㍎の歩道用高欄に約30㍎間隔で眺望用ガラスパネルも設置されている。採用されたのはアルミ車両用防護柵1622㍎、25・3㍎、アルミ中央分離帯用車両用防護柵1615㍎、45・1㍎、アルミ投物防止柵611㍎、10・4㍎（写真）。

橋面工事施工は三井住友建設。（永島誠司）